

# 太陽光市民発電所4基新設へ

## 環境にやさしい エネルギー普及を

京のNPO

### 設置施設を公募

環境にやさしい自然エネルギーに関するNPO法人(特定非営利活動法人)「きょうう」は、11日、京都ライオンズ



### 京都LC「次代のため」資金提供

太陽光の市民発電所づくりで協力が決まり、握手する京都ライオンズクラブの伊豆蔵副委員長と「きょうう」グリーンファンドの龍池理事長ら(京都市東山区・ウェスティン都ホテル)

クラブ(鈴鹿且久会長、百人)から一千万円の助成を受け、今後二年間で太陽光による「市民共同おひさま発電所」四基を新設すると発表した。設置施設の公募も始めた。

同ファンドは、地球温暖化防止京都会議(一九九七年)をきっかけに、太陽光や風力による発電を広め、環境教育に役立てようと発足した。賛同する一般市民から寄付を募り、これまでに法然院(左京区)とあけぼの保育園(伏見区)にソーラーパネルを設置したほか、来年二月に城陽市内の二カ所設置を目標に寄付活動を進めている。

二〇〇四年一月に発足五十周年を迎える京都ライオンズが「京都を環境都市に」と、記念事業の一環で協力を申し出た。伊豆蔵賢三同事業実行副委員長は「これまでモノを贈る助成が多かったが、次代を担う子どものために」と思い切った助成に踏み切ったという。

市民発電所の設置には一カ所で約七百万円が必要。同ファンドは今回の助成金を一部に充て、来年度、再来年度に各二基を新設する。龍池妃都美理事長は「良いパートナーシップが築けた。新しい社会貢献のあり方だ」と喜んでいる。

市民発電所の応募条件は、京都市内か近郊の幼稚園、保育園など環境教育に取り組める公共性のある施設。来年一月三十一日までに所定の用紙で申し込む。問い合わせは同ファンド ☎075(241)0550。